

翔如

百万石蝶談会



NO. 89 APRIL 1991

飼育失敗記：その2 《桜によるゼフィルス飼育》

野 中 勝

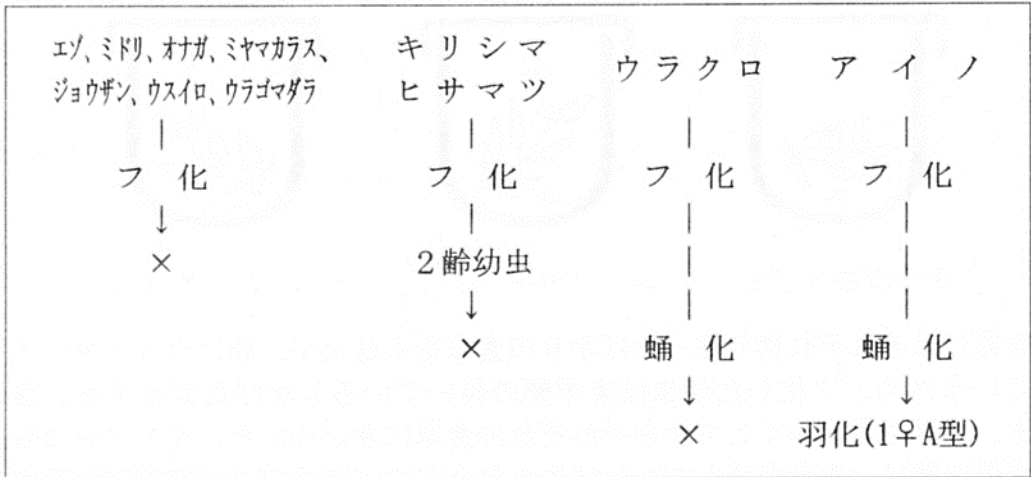
昨年、ミズイロオナガシジミ、アイノミドリシジミ、ジョウザンミドリシジミ、ウラミスジシジミのブナ科食の4種のキンキマメザクラによる飼育を試み、そのうちミズイロ、アイノ、ウラミスジの3種が成虫になった事を報告した(翔80号, 1989)。そこで今シーズンは昨年の追試であるアイノ、ジョウザンを含む12種のシジミのキンキマメザクラによる飼育を試みた。実験に用いたシジミの卵の産地を以下に記す。

種 名	卵数	産 地
キリシマミドリシジミ	10	神奈川県丹沢
ヒサマツミドリシジミ	10	富山県早月川
ミ ド リ シ ジ ミ	12	石川県医王山
アイノミドリシジミ	3	〃
エゾミドリシジミ	4	〃
ジョウザンミドリシジミ	10	〃
ウラクロシジミ	10	〃
ウスイロオナガシジミ	10	〃
オ ナ ガ シ ジ ミ	9	石川県犀川
ウラゴマダラシジミ	10	富山県刀利ダム
ミヤマカラスシジミ	11	〃

卵は冬の間、冷蔵庫内に保管し、1990年3月10日、室温へ戻して加湿した。餌にはキンキマメザクラの新芽のみを与えた。飼育は全種の卵を1つの容器で行うという省エネ型にした為、記録は不十分ではあるが以下に日を追って気がついたことを記す。

- 3月10日 ウラゴマ1卵フ化。歩きまわりキンキマメザクラを摂食せず。
- 3月12日 ウラゴマ3卵、ウラクロ1卵フ化。どれも摂食せず。
- 3月13日 ウラゴマ1卵、ウラクロ2卵、ミヤマカラス1卵フ化。どれも摂食せず。
- 3月14日 ミヤマカラス数卵フ化。摂食せず。
- 3月15日 ウラクロ、ミヤマカラス全卵フ化。オナガのフ化始まる。摂食せず。
- 3月16日 アイノ、ヒサマツ、ジョウザン、エゾのフ化始まる。摂食せず。
- 3月17日 数頭によるものと思われる、かすかな食痕とわずかの糞を認める。
- 3月18日 ウスイロのフ化始まる。
- 3月20日 アイノらしき1頭が成長している。

- 3月21日 キリシマ1卵フ化。全体的に食べ悪し。
- 3月23日 アイノ1頭2齢に。ほかの5～6頭は生存しているが成長は遅い。
- 4月7日 アイノ1頭終齢。ウラクロ1頭3齢。その他キリシマ及びヒサマツと思われる数頭が2齢。
- 4月17日 アイノ蛹化。ウラクロ前蛹。他はヒサマツと思われる1頭(2齢)のみが生存。
- 4月25日 ヒサマツ2齢が死亡し、アイノ、ウラクロ各1蛹が残る。その後アイノは1♀(A型)が羽化したが、ウラクロは結局羽化しなかった。



結果的にはアイノのみが羽化に至った事になるが、他の種についてはキンキマメザクラでは飼育できないと片付けてしまうには、少々記になる点がある。先ず全種ゴチャ混ぜの省エネ型飼育であるが、幼虫にとっては好ましいとは考えられず、通常の餌が与えられた場合には問題にならないにしても、嫌いな餌を与えられた場合には、致命的であった可能性も否定できない。また、前回のジョウザンが少しも成長せずに死亡した(翔NO.80)のに対し、今回のウラクロ、キリシマ、ヒサマツは摂食、成長し、ウラクロは蛹まで、キリシマ、ヒサマツは2齢まで行っており、少なくともキンキマメザクラを全く受け付けないとは言えない気がする。根拠がある訳ではないが、どうも今年のサクラ飼育はあまりうまく行っていない様な気がして、本来ならこの中の何種かは羽化まで行って良いように思われる。アイノはサクラが非常に好きみたいだし、コントロール(一般的な飼育条件の指標)には昨年いやいやサクラを食べたミズイロ、ウラミスジを使うべきだったのかもしれない。

以上ゴチャゴチャ書いたが、とにかく羽化しなかったものはどう仕様もなく、結論はただ1つ、「来シーズンもう1度」である。

《のなか まさる 〒920 金沢市末町14-70-2》

アサギマダラを3種の食草で飼育

松井正人

アサギマダラの食草として知られ石川県に分布するものに、オオカモメヅル、コバノカモメヅル(アズマカモメヅル)、ガガイモ、イケマ、コイケマがある。この中から簡単に手に入るオオカモメヅル、コバノカモメヅル、ガガイモを用いてアサギマダラの飼育を行なった。

材料は、押水町宝達山で得た母蝶がガガイモに産卵した12卵と、庭に植えてある食草を用いた。12卵はそれぞれ4卵ずつ4個のタッパーに分け、タッパーは蛹化に至るまで同じものを用いた。



オオカモメヅル



コバノカモメヅル



ガガイモ

容器にはそれぞれ切り取ったばかりの食草を入れたが、卵はガガイモに生まれているため、フ化した幼虫はまず卵の付いているしなびたガガイモに食いつき、これを食べつくしてからそれぞれの食草に食いついた。タッパーは日に1度蓋を開け、食草が痛んでいれば取り替えたが、10月24日～27日にかけては私事により食草を替えることはもちろん蓋も開けることができなかった。

成長記録

日付	最低気温	オオカモメヅル	コバノカモメヅル	ガガイモ
9.30		産卵	産卵	産卵
10.6		フ化	フ化	フ化
10.26	12.8		24日～27日の間	
27	10.6	2頭蛹化	に1終齢死亡	1頭蛹化
28	9.2	2頭蛹化		1頭蛹化
29	8.5			
30	12.5		2頭蛹化	2頭蛹化→死亡
31	12.8		↓	↳死亡
11.1	11.3		1頭蛹化	
2	11.6		↓	
3	12.2		1蛹死亡	

※最低気温は金沢地方气象台調べ

日付	オオカモメヅル	コバノカモメヅル	ガガイモ
11.19	1♂(51)		
20	2♂(52, 52)		1♀(56)
21	1♂(52)		
22			
23		1♂(51)	1♀(56)
24		↑ () は前翅長mmを示す	
25			
26			
27		1♂(51)	
卵期	6日	6日	6日
幼期	21~22日	24~26日	21~24日
蛹期	23~24日	24~26日	24~26日

成育記録を見ると、終齢幼虫と蛹の死が気にかかる。幼虫の死亡原因としては、23日夜に4日分の餌を容器に詰め込み、4日間容器を空けなかった事による人為的な環境の悪化(蒸れ死)が考えられる。蛹の死亡原因としては、前蛹期における気温の低下が考えられる。この頃の日最低気温が12度C前後であるのに対し、29日は8.5度まで下がっている。

最後に3種の食草における成育状況の違いとしては、成長期の長さ、羽化個体の大きさ、また総ての幼虫が同じ環境の悪化にさらされた中での1幼の死亡等から、コバノカモメヅルが3種の中でいくらか劣り、オオカモメヅルとガガイモにはほとんど差異がない様に思われる。

《まつい まさと 〒920-01 金沢市大場町東871-15》

茶畑に集まるアサギマダラ

松井正人

四国でアサギマダラ多数が茶に訪花しているのを観察したので報告する。

1990年10月27日は天気も良く、高知県室戸市金剛頂寺付近の茶畑には、たくさんハチやセセリチョウがブンブンと飛び交い、イシガケチョウ、ヤマトシジミ、ムラサキシジミなども訪花していた。そんな中でアサギマダラは、他の虫がいない静かな花で、のんびりと吸蜜していた。

数が多いのでマーキングしたところ、辺りに飛んでいたものも含め、10時半から11時までの30分間に15頭をマークした。内訳は記録していないが、雄も雌もあり、新鮮なものから汚損したものまで見られた。時間をかければ、更にマークできたと思われ、茶畑はマーキングポイントとしてかなり有望ではないだろうか。

《まつい まさと 〒920-01 金沢市大場町東871-15》

石川県に於けるゼフィルスの分布2

松井正人

本紙88号(1991年2月)では、ウラゴマダラシジミ、ウラキンシジミ、ムモンアカシジミを紹介したが、引き続きデータを整理しながら紹介していきたい。

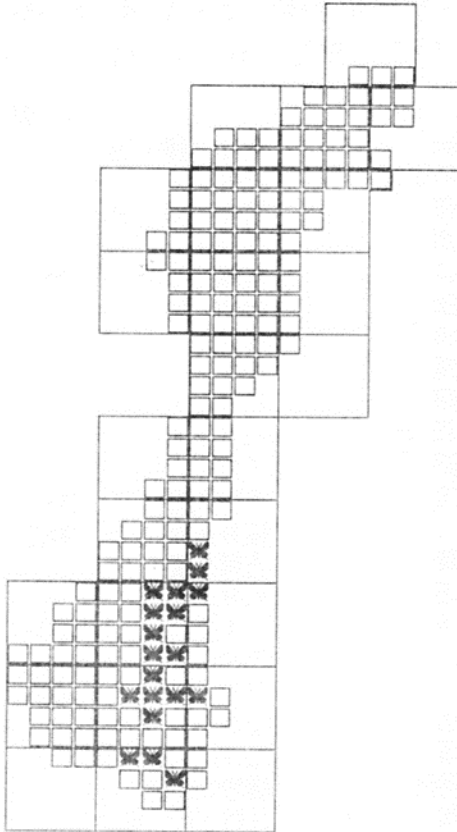
4 オナガシジミ

金沢市以南山地に広く分布すると思われる。食樹オニグルミは誰もが良く知っている木で、卵調査は容易と思われるにもかかわらず、あまり調査されていない。能登では押水町宝達山で調査されている以外は、調査されていない。

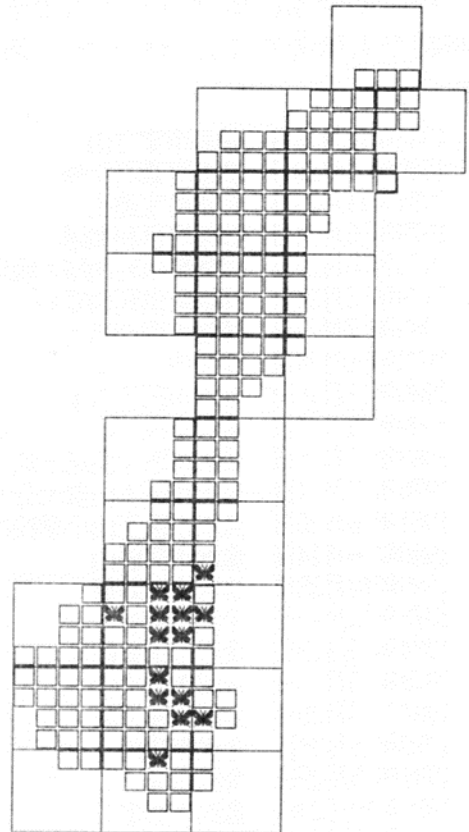
文献

1981年12月31日	金沢市奥新保	2卵	松井正人	
1981年12月27日	金沢市横谷	15卵	松井正人	
1983年5月1日	金沢市菊水	5幼	中西重雄	
1981年12月27日	金沢市魚帰	8卵	松井正人	
1981年12月29日	金沢市熊走	9卵	松井正人	
1990年3月25日	金沢市犀川ダム	2卵	野中勝	2085
1985年7月20日	金沢市寺津	1頭	澤田博	2053
1973年7月6日	金沢市上寺津発電所付近	1♂	出嶋利明	9103
1982年11月28日	金沢市石黒	22卵	岩下泰子・他	
1982年1月10日	金沢市川谷	23卵	松井正人	
1984年11月5日	金沢市倉ヶ岳	2卵	松井正人	
1984年9月29日	金沢市倉谷	10卵目撃	松井正人	
1982年1月11日	金沢市田島	6卵	松井正人	
1982年1月10日	金沢市湯涌河内	2卵	松井正人	
1985年5月17日	金沢市湯涌曲	2幼目撃	松井正人	
1982年11月18日	金沢市湯涌荒屋	43卵	松井正人	
1981年12月29日	金沢市内川ダム	4卵	松井正人	
1983年7月3日	金沢市日尾	1頭	吉村久貴	
1980年11月17日	金沢市白見谷	1卵	諸道秀人	2020
1982年1月10日	金沢市板ヶ谷	13卵	松井正人	
1983年11月20日	河内村奥池	多数卵	松井正人・他	
1982年12月19日	河内村内尾	56卵	岩下泰子・他	2039
1982年8月29日	河内村内尾～奥池	目撃	竹谷宏二	2044
1982年12月9日	河内村板尾	16卵	岩下泰子・他	2039
1982年12月19日	河内村板尾コツ谷	16卵	岩下泰子・他	2039
1983年11月23日	鳥越村杖川	6卵	松井正人	
1982年4月17日	吉野谷村佐良	2幼	松井正人	
1984年7月24日	吉野谷村瀬波谷	5頭	松田俊郎	
1981年11月22日	吉野谷村中宮	42卵	野中勝・他	2027
1984年6月3日	吉野谷村中宮温泉	3幼	松井正人・他	
1982年12月31日	吉野谷村木滑新	3卵目撃	松井正人	
1982年8月18日	尾口村東荒谷	目撃	竹谷宏二	2044
1981年11月22日	尾口村目附谷	2卵	野中勝・他	2027
1982年月日	白峰村市の瀬	7卵	野中勝・他	2043
1982年5月3日	白峰村小嵐谷	1幼	松井正人	
1982年月日	白峰村大杉谷	7卵	嵯峨井淳郎	2043
1984年11月23日	白峰村堂の森	1卵	松井正人	
1984年11月18日	小松市大日川ダム	9卵	松井正人・他	

オナガシジミ



ウスイロオナガシジミ



5 ウスイロオナガシジミ

金沢市以南山地に広く分布すると思われる。卵調査が困難なことから、記録は少なく、能登では調査されていない。

			文 献
1990年 2月 4日	金沢市医王山	4 2卵	松井正人
1978年 7月 2日	金沢市医王山重山分岐	1頭	吉村久貴
1978年 11月 11日	金沢市高尾山	1卵	松井正人
1979年 2月 18日	金沢市国見	6卵	野中 勝
1978年 5月 14日	金沢市順尾山	1幼	野中 勝
1958年 7月 2日	金沢市成ヶ峰	2♀	手塚正一
1985年 1月 12日	金沢市赤倉尾根	3卵	松井正人
1970年 6月 29日	金沢市倉ヶ岳	1頭	三陰外茂治
1977年 8月 14日	金沢市尾の谷峰	3頭	松井正人
1981年 3月 22日	鶴来町獅子吼スキー場	4卵	野中 勝
1985年 1月 27日	鶴来町奥獅子吼山	数卵	野中 勝・他
1978年 7月 9日	吉野谷村瀬波川	1頭	松井正人
1978年 5月 28日	吉野谷村白山中宮道	1幼	野中 勝
1978年 7月 30日	尾口村丸石谷	1頭	松井正人
1982年 5月 5日	尾口村荒谷	4幼	松井正人
1978年 7月 2日	尾口村新岩間温泉	1頭目撃	松井正人
1985年 8月 18日	尾口村白山染々新道	1頭目撃	野中 勝
1981年 7月 5日	白峰村大杉谷	2頭	松田俊郎
1987年 7月 23日	辰口町湯屋	1♀	中山佐一郎

6 ミズイロオナガシジミ

石川県全域に広く分布すると思われるが、普通種のためか報告は少ない。卵調査も積極的に行なわれず、何かのついでに記録されたものがほとんどである。

文献

1984年12月16日	輪島市宝立山	9卵	野中 勝・他	
1989年 1月22日	鹿島町基石ヶ峰	1 孵化殻	松井正人	
1984年11月25日	押水町宝達山	1卵	野中 勝・他	
1979年 6月24日	津幡町俱利伽羅	1頭	松井正人	
1976年 6月20日	津幡町俱利伽羅古戦場	1頭	嵯峨井淳郎	2005
1979年 6月24日	津幡町俱利伽羅峠	1頭	野中 勝	
1983年 7月 3日	津幡町甲斐崎山	1頭	松井正人	
1972年 6月24日	金沢市キゴ山	5頭	松井正人	
1989年 1月16日	金沢市医王の里	数卵	松井正人	
1990年 2月 4日	金沢市医王山	4卵	松井正人	
1989年 1月16日	金沢市医王山見上峠	数卵	松井正人	
1978年 7月 1日	金沢市医王山重山分岐	2頭	吉村久貴	2001
1961年 6月20日	金沢市医王山小学校付近		桜井正喜	9052
1980年 6月14日	金沢市卯辰山	1頭	吉村久貴	
1989年10月28日	金沢市奥新保	2卵	松井正人	
1978年12月10日	金沢市横谷	2卵	松本和馬	2003
1984年 5月19日	金沢市加賀朝日	6幼	松井正人	
1978年 5月 3日	金沢市吉次山	1幼	野中 勝	2005
1984年 5月26日	金沢市曲子原	1幼	松井正人	
1970年 6月28日	金沢市駒帰	1頭	松井正人	
1983年 5月29日	金沢市窪	1羽化	嵯峨井淳郎	
1989年10月29日	金沢市熊走	4卵	井村正行・他	
1966年 6月26日	金沢市月浦	1頭	嵯峨井均	
1978年11月11日	金沢市高尾山	5卵	松井正人	
1978年11月18日	金沢市国見山	1卵	野中 勝	2005
1982年11月14日	金沢市犀川ダム	2卵	野中 勝	2036
1981年11月14日	金沢市三小牛	1卵	野中 勝	
1984年 6月16日	金沢市四坊高坂	1頭目撃	松井正人	
1978年12月 9日	金沢市住吉	1卵	野中 勝	
1982年11月28日	金沢市順尾山	5卵	岩下泰子・他	2035
1978年 6月12日	金沢市小原	1♂	松井正人	
1984年 6月24日	金沢市松根	多数目撃	松井正人	
1979年 7月 4日	金沢市上寺津発電所	1♀目撃	松井正人	
1984年12月 3日	金沢市新保	2卵目撃	松井正人	
1980年11月12日	金沢市倉ヶ岳	1卵	諸道秀人	2020
1972年 8月27日	金沢市大平沢	1頭目撃	松井正人	
1978年12月11日	金沢市大平沢そら山	1卵	松井正人	
1972年 5月10日	金沢市地代	4幼	嵯峨井淳郎	2005
1985年 4月29日	金沢市中尾	1幼	松井正人	
1981年 6月 3日	金沢市坪野	1羽化	嵯峨井淳郎	
1983年 5月 日	金沢市釣部	1羽化	中西重雄	
1971年 6月17日	金沢市天池	1頭目撃	松井正人	
1984年 5月26日	金沢市土子原	4幼	松井正人	
1979年 7月 5日	金沢市栃尾	1♀	松井正人	
1972年 5月13日	金沢市南千谷	1幼	嵯峨井淳郎	2005
1979年 1月25日	金沢市白見谷	1卵	松井正人	

文 献

1977年 8月14日	金沢市尾の谷峰	2 頭目撃	松井正人	
1982年11月28日	金沢市菱池	1 卵	野中 勝	2036
1966年 6月21日	金沢市百坂	1 頭	嵯峨井均	
1972年 6月18日	金沢市平等本	3 頭	松井正人	
1984年 6月24日	金沢市北千石	数頭目撃	松井正人	
1981年 6月19日	金沢市牧山	1 頭目撃	松井正人	
1974年 6月 日	金沢市鈴見山	目撃	井村正行	2005
1984年 6月23日	金沢市婿杉	2 頭	澤田 博	
1981年 1月25日	鶴来町獅子吼高原	1 卵	諸道秀人	2020
1985年 1月27日	鶴来町奥獅子吼山	数卵	野中 勝・他	
1988年10月23日	河内村奥池	1 卵	野中 勝	2077
1984年 8月 1日	河内村福岡	目撃	松田俊郎	
1980年11月30日	鳥越村杖川	1 卵	諸道秀人	2020
1983年 1月28日	鳥越村大日スキ一場	1 卵	吉村久貴	
1984年 6月 1日	鳥越村鳥越城跡	1 羽化	嵯峨井淳郎	
1981年11月29日	吉野谷村高倉山	1 卵	松井正人	
1979年11月25日	吉野谷村佐良	1 卵	松井正人	
1981年 6月30日	吉野谷村瀬波谷		松田俊郎	2023
1984年12月31日	吉野谷村中宮スキー場	数卵	野中 勝・他	
1972年 7月22日	吉野谷村湯谷頭	2 頭	松井正人	
1978年 5月28日	吉野谷村白山中宮道	1 幼	野中 勝	2005
1977年 7月30日	尾口村丸石谷	1 頭	松井正人	
1982年 5月 5日	尾口村荒谷	1 幼	松井正人	
1985年 7月28日	尾口村白抜山	1 頭目撃	松井正人	
1985年 7月28日	尾口村目附谷	1 頭目撃	松井正人	
1990年 7月 8日	白峰村大杉谷	1 頭目撃	松井正人	
1984年 8月11日	白峰村大杉谷林道	目撃	吉村久貴・他	2051
1983年 6月12日	辰口町辰口丘陵公園	目撃	松田俊郎	
1988年 6月19日	辰口町湯屋	1 頭目撃	松田俊郎	2071
1983年 3月27日	辰口町仏大寺~観音山	2 卵	吉村久貴・他	2040
1984年12月 9日	小松市鞍掛山	1 卵	野中 勝	2051
1984年 5月20日	小松市鶴川	3 0 幼	松井正人・他	
1984年11月18日	小松市大山	1 卵	松井正人・他	
1981年12月 6日	小松市大日川ダム	3 卵	野中 勝・他	2027
1978年 6月14日	小松市東山	1 ♂	中山佐一郎	9024
1978年 6月30日	小松市波佐谷	1 ♂	中山佐一郎	9024
1985年 5月 5日	小松市遊泉寺温泉	1 幼目撃	松井正人	
1983年 6月29日	加賀市奥谷	目撃	竹谷宏二	2050
1983年 6月30日	山中町我谷	目撃	竹谷宏二	2050
1989年11月 5日	山中町我谷ダム	2 卵	松井正人・他	
1983年 4月 8日	山中町刈安山	2 卵	吉村久貴	2041
1983年 6月29日	山中町菅谷	目撃	竹谷宏二	2050
1978年11月12日	山中町片谷	1 卵	松本和馬	2003

7 アカシジミ

石川県全域に広く分布すると思われるが、普通種のためか報告は少ない。卵調査も積極的に行なわれず、何かのついでに記録されたものがほとんどである。珠洲市においても松枝章氏が記録している⁹⁰³²が、正確なデータが拾えなかったので、ここでは取り上げなかった。

			文献
1971年 月 日	輪島市町野	3卵	時国健太郎 1022
1974年 6月20日	押水町東間～宝達山山頂	目撃	嵯峨井淳郎 2004
1974年 7月20日	押水町宝達山	1頭	嵯峨井淳郎 2005
1982年 6月10日	津幡町俱利伽羅	目撃	岩下泰子・他 2042
1978年 6月13日	金沢市医王の里	2頭	吉村久貴 2001
1984年11月29日	金沢市医王山	1卵	中西重雄 2048
1978年 7月 1日	金沢市医王山重山分岐	1頭	吉村久貴 2001
1984年 5月19日	金沢市加賀朝日	3幼	松井正人
1982年 6月10日	金沢市花園	2頭	岩下泰子・他 2042
1985年 3月20日	金沢市観法寺	1幼	中西重雄 2051
1978年 5月 3日	金沢市吉次山	3幼	野中 勝 2005
1984年 6月24日	金沢市曲子原	1頭目撃	松井正人
1984年 6月12日	金沢市金沢城跡	1頭目撃	古見 克 1054
1978年 5月 5日	金沢市熊走	1幼	野中 勝 2005
1982年11月14日	金沢市犀川ダム	1卵	野中 勝 2036
1984年 6月16日	金沢市四坊高坂	3頭目撃	松井正人
1984年 6月13日	金沢市芝原	2頭目撃	松井正人
1984年 6月24日	金沢市松根	数頭目撃	松井正人
1985年 6月16日	金沢市浅丘	2♀目撃	松井正人
1978年 6月18日	金沢市倉ヶ岳	1♀	井村正行 2005
1972年 6月14日	金沢市大平沢	5頭	松井正人
1984年 5月 6日	金沢市地代	1幼	松井正人
1971年 6月17日	金沢市天池	1頭目撃	松井正人
1984年 5月26日	金沢市土子原	1幼	松井正人
1985年 6月13日	金沢市俵	1頭目撃	松井正人
1982年 4月 7日	金沢市平栗	幼虫	嵯峨井淳郎 2030
1984年 6月24日	金沢市北千石	数頭目撃	松井正人
1966年 6月18日	金沢市野田山	1♂	嵯峨井淳郎 2005
1984年 6月23日	金沢市甥杉	2♀	澤田 博
1979年 2月 4日	鶴来町獅子吼スキー場	2卵	野中 勝 2006
1981年 2月 1日	鶴来町獅子吼高原	1卵	諸道秀人・他
1985年 1月27日	鶴来町奥獅子吼山	数卵	野中 勝・他
1982年 6月22日	鳥越村下野	1頭目撃	竹谷宏二 2044
1978年10月22日	鳥越村杖川鷺走谷出合	1卵	野中 勝 2005
1984年12月31日	吉野谷村中宮スキー場	3卵	山岸善也・他 2050
1990年 6月23日	吉野谷村中宮温泉	1頭目撃	松井正人
1972年 7月22日	吉野谷村湯谷頭	1頭	松井正人
1978年 1月20日	尾口村一里野スキー場	1卵	野中 勝 2006
1983年 6月12日	尾口村丸石谷	1頭	中西重雄
1984年 8月11日	白峰村大杉谷林道	目撃	吉村久貴・他 2051
1985年 6月 9日	白峰村百合谷林道	1頭	中西重雄 2052
1983年 3月27日	辰口町鍋谷服部鉱山	3卵	吉村久貴・他 2040
1983年 3月27日	辰口町仏大寺～観音山	1卵	吉村久貴・他 2040
1984年12月 9日	小松市鞍掛山	1卵	野中 勝 2051
1984年 5月20日	小松市鶴川	20幼	松井正人・他
1984年11月18日	小松市新保	1卵	松井正人・他
1979年 6月18日	小松市長谷	1♀	中山佐一郎 9024
1985年 5月 5日	小松市八幡	1幼目撃	松井正人
1985年 5月 5日	小松市遊泉寺温泉	3幼	松井正人
1984年 6月 7日	小松市里川	1頭目撃	中山佐一郎 9026

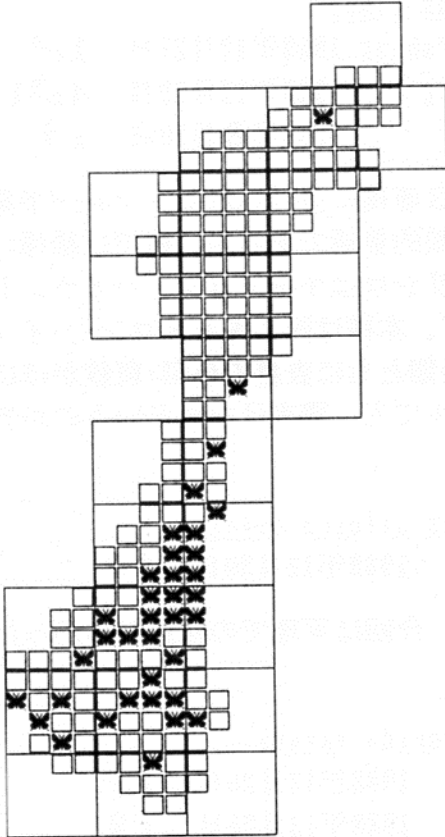
1983年 6月30日 山中町我谷
 1978年 6月 9日 山中町山中温泉
 1978年11月12日 山中町片谷

目撃
 1頭採集 2頭目撃
 3卵

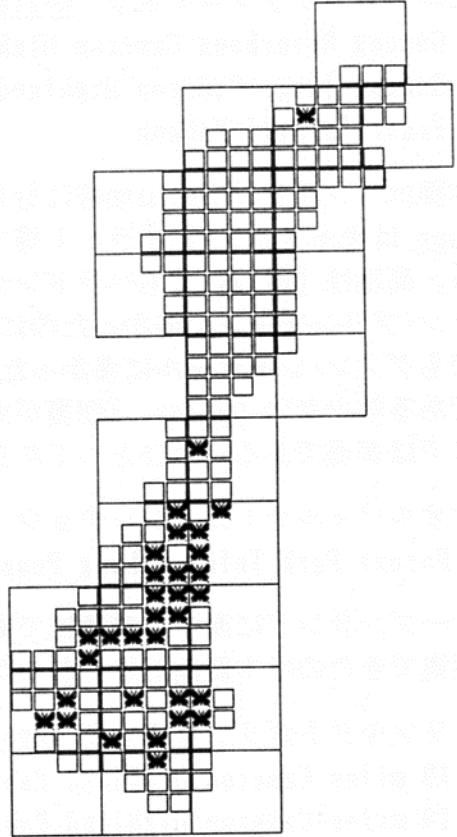
竹谷宏二
 松本和馬
 入場 登・他

文献
 2050
 2001
 2003

ミズイロオナガシジミ



アカシジミ



《 参考文献 》

- 9016) 手塚正一(1958)金沢市付近の蝶2題 新昆虫 11(10):50
 9019) 武藤 明(1971)石川県のチョウに関する新資料 生物研究 15(1・2):20-21
 9020) 武藤 明(1972)石川県のトンボとチョウに関する追加資料 生物研究 16(1・2):15-16
 9024) 中山佐一郎(1981)小松市とその周辺のチョウについて 小松市立博物館研究紀要(18):1-26
 9026) 中山佐一郎(1985)里川・仏大寺方面のトンボ・チョウについて 小松市立博物館研究紀要(22):11-19
 9032) 松枝 章(1976)珠洲市の動物(昆虫) 石川県珠洲市史(1):349-368
 9052) 桜井正喜(1962)医王山の昆虫:1-6
 9065) 中山佐一郎(1988)小松市とその周辺のチョウについて(第5報) 小松市立博物館研究紀要(25):1-4
 9103) 出嶋利明(1991)石川県におけるシジミチョウ4種の記録 昆虫と自然 26(2):25
 1000~1099)石川県虫の会の「とっくりばち」を示し、下2桁は号数を示す
 2000~2099)百万石蝶談会の「翔」を示し、下2桁は号数を示す

《まつい まさと 〒920-01 金沢市大場町東871-15》

マレーシアの蝶についての報告(V):シロチョウ科(その2)

指田 春喜

前回(翔87号,1990)に引き続いて、シロチョウ科の残り11種について採集記録の報告およびその解説を行う。

15. ニヌスカザリシロチョウ Delias ninus ninus

Gunong Brinchang Cameron Highland Pahang	1988年12月27日	1♂
Gunong Jasar Cameron Highland Pahang	1988年12月29日	4♂1♀
Fraser's Hill Pahang	1989年8月20日	1♀

本種はスダラントの山地帯に分布し、3亜種に分けられる。マレー半島の ninus はキャメロン・ハイランド等では比較的普通であるが、他では稀種に属する。高地性 Delias でもベラドンナカザリシロはキャメロン・ハイランドのグノン・プリンチャンに多かったのに対して、本種は同じキャメロン・ハイランドでもグノン・ジャサールに多かった。前後翅ともに表裏の色彩・斑紋がほぼ同じである数少ない Delias (翅裏がカラフルでも、翅表は白色というのがデリアスでは普通である) のひとつである。

16. オルフエルナトガリシロチョウ Appias olferna olferna

Forest Park Teluk Bahang Penang Is.	1988年12月30日	1♀
-------------------------------------	-------------	----

オープンランドに産する普通種であるが、今回は平地での採集が多かった為か採集できたのは本個体だけであった。

17. リンキダトガリシロチョウ Appias lyncida vasava

19 miles Cameron Highland Pahang	1988年12月26日	1♂
19 miles Cameron Highland Pahang	1988年12月28日	1♀
10 miles Cameron Highland Pahang	1989年8月13日	1♂1♀
Water Fall Fraser's Hill Pahang	1989年8月21日	1♀

本種は広く東洋区のほぼ全域に分布する普通種であり、一般には「タイワンシロチョウ」の名で知られ、八重山諸島で時折採れるのは別亜種 eleonora である。吸水性が強いため♂は多数採集できるが、♀の採れる数は多くない。

18. ネロトガリシロチョウ Appias nero figulina

19 miles Cameron Highland Pahang	1988年12月26日	1♂1♀
19 miles Cameron Highland Pahang	1988年12月28日	1♂
Gunong Raya UluMelaka Langkawi Is.	1988年12月31日	4♂

「ベニシロチョウ」あるいは「ヤマザキベニシロチョウ」なる和名でしられる。吸水性が強くしばしば集団をつくるので、♂の採集は容易であるが、♀は稀であり、より高標高の森林に棲む。

19. アルビナトガリシロチョウ Appias albina albina
 Gunong Raya UluMelaka Langkawi Is. 1988年12月31日 5♂
 Gunong Raya UluMelaka Langkawi Is. 1989年1月1日 2♂

台湾には別亜種 samperi が分布し、八重山諸島でも迷蝶としてしばしば採集され、「カワカミシロチョウ」の名が付いている。

20. パウリナトガリシロチョウ Appias paulina distanti
 Kisap Langkawi Is. 1989年8月19日 1♀

本種は全東洋区からオーストラリアの東北部海岸にまで広く分布し、八重山諸島・台湾は分布の北限にあたり、別亜種 minato (和名:ナミエシロチョウ) が分布する。

21. インドラトガリシロチョウ Appias indra plana
 19 miles Cameron Highland Pahang 1988年12月28日 1♂
 Gunong Raya UluMelaka Langkawi Is. 1988年12月31日 1♂
 Maxwell Hill Perak 1989年8月15日 1♀
 Fraser's Hill Pahang 1989年8月20日 1♀

東洋区のほぼ全域に分布する普通種であり、その北限である台湾には別亜種 aristoxemus が分布し、「クモガタシロチョウ」の名で知られる。ランカウイ島で採集した個体は右前翅の白化した異常型であり、月刊むし(NO.238,1990)に報告した。

22. パンディオネトガリシロチョウ Appias pandione lagela
 Gunong Brinchang Cameron Highland Pahang 1988年12月27日 5♂
 Gunong Brinchang Cameron Highland Pahang 1989年8月12日 1♂

やや高地性であり、グノン・プリンチャンでのベラドンナカザリシロチョウ (Delias belladonna) 採集時に、風に乗り素早く飛び去るシロチョウをネットしてみると本種であった。それほど局地的なものとも思われないが、他では目撃すらできなかった。

23. ララシストガリシロチョウ Appias lalassis indroides
 19 miles Cameron Highland Pahang 1988年12月26日 1♀
 19 miles Cameron Highland Pahang 1988年12月28日 2♂

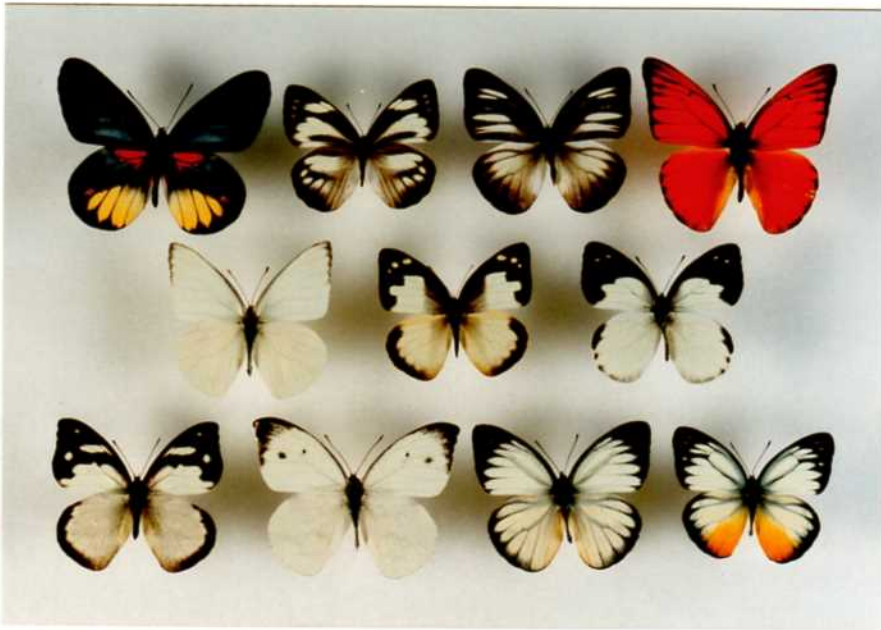
本種の分布はビルマからマレー半島であり、よって例の塚田大図鑑には載っていない。そこで、和名「ララシストガリシロチョウ」はこれまで使われていない新称である。♀はフレミングの図鑑に図示されていないが、前翅端の黒帯はより濃色であり、かつ幅広く、第3室の黒斑はこれに融合する。また、後翅外縁の黒帯びも幅広く、これらによって雌雄の識別は容易である。

24. ナディナマルバネシロチョウ Cepora nadina andersoni
 19 miles Cameron Highland Pahang 1988年12月28日 1♂
 Fraser's Hill Pahang 1989年8月20日 1♂
 Water Fall Fraser's Hill Pahang 1989年8月21日 1♂

別亜種 eunama は台湾に分布し、南山溪で最も個体数の多い蝶であり、和名「ウスムラサキシロチョウ」の名で知られる。森林帯に多く、♂は集団で吸水を行う。

25. イウデイトマルバネシロチョウ Cepora iudith malaya
 Fraser's Hill 山麓部 Pahang 1988年1月2日 1♂

後翅内縁の濃黄色が鮮やかであるが、他の色彩・斑紋は前種に似る。現在14亜種に分けられ、マレー半島やタイには本亜種が分布するが、マレー半島でもティオマン島のものは別亜種 talboti とされる。



上段	ニヌス カザリシロチョウ♂	オルフェナ トガリシロチョウ♀	リンキダ トガリシロチョウ♀	ネロ トガリシロチョウ♂
中段	アルピナ トガリシロチョウ♂	パウリナ トガリシロチョウ♀	インドラ トガリシロチョウ♀	
下段	パンディオネ トガリシロチョウ♂	ララシス トガリシロチョウ♂	ナディナ マルバネシロチョウ♂	イウデイト マルバネシロチョウ♂

《さしだ はるき 〒920 金沢市材木町8-3》

クロカタビロオサムシの追加記録

野 中 勝

クロカタビロオサムシ (*Calosoma maximowiczii*) の記録は石川県では極めて少ないが(翔NO.72, 1988)、以下の如く採集したので報告する。

1990年7月8日 金沢市榎尾 1♀ 野中 勝

アベマキの樹液に来ていたもので、過去2例同様、初夏の低山地での記録となる。この時期のトラップ調査はほとんど実施されておらず、今後の調査により本種の記録も増えることが期待される。

《のなか まさる 〒920 金沢市末町14-70-2》

ダイミョウアトキリゴミムシの採集記録

井 村 正 行

自宅の前を歩いていたダイミョウアトキリゴミムシ (*Cymindis daimio*) を採集したので報告する。本種はゴミムシの中では比較的美しく、珍しいと思われるが県内での記録は無かったように思われる。

1980年8月1日 金沢市湊2丁目 1頭 井村正行

《いむら まさゆき 〒920-01 金沢市湊2-116-70》

ルリクワガタの越冬成虫を採集

井 村 正 行

ルリクワガタ (*Platycerus delicatulus*) の越冬成虫を採集したので報告する。

1990年11月18日 石川郡白峰村釈迦林道 7♂9♀ 井村正行

この日は、中西重雄、野中 勝の両氏と共にルリクワガタの越冬写真を採るために訪れたもので、これらの個体は2ヶ所から採集することができた。1ヶ所は直径40cm位の立枯木で、高さ1.5m~2m位のところから6♂7♀を採集し、もう1ヶ所は直径20cm位の倒木で1♂2♀を採集した。立枯木は古めではあるが樹皮はかなり残っており、倒木は表面にコケが生え樹皮はほとんど無かった。

本種は6月中旬~7月上旬頃に同地でブナの立枯木より採集されているが個体数は少ない。

《いむら まさゆき 〒920-01 金沢市湊2-116-70》

ムネアカセンチコガネを採集

井村正行

本県では採集例が少ないと思われるムネアカセンチコガネ(*Bolbocerosoma nigroplagiatum*)を採集したので報告する。

1990年9月21日 金沢市湊2丁目 1♂ 井村正行

筆者の車の中で死んでいたもので、新しい完全品だった。本種が同地の様な海に近い田園で車に迷い込んだとは考えにくく、もしかすると3日程前に医王山方面に行った時に車に迷い込んだのかも知れない。

《いむら まさゆき 〒920-01 金沢市湊2-116-70》

守_レ家 待_レ天 牛 (家を守りてカミキリを待つ)

その1 《ゴマダラカミキリ》

澤田博

中国に「守_レ株 待_レ兎」ということわざがある。ご存じ「ころりころげた木の根っこ」である。

虫の採集においても、最も楽なのは、なんといっても自宅の中に入ってきたものを採集(?)することだろう。その多くは、明かりにひかれて来るものであるが、家の周囲に発生場所がある場合もあるようだ。

さて、6月の夜、居間でビールを飲んで横になり、頬杖をついてテレビを見ていたら、黒くて大きなものが窓から飛び込んできて、私の高い鼻に止まった。

はたき落して瞬間に頭に浮かんだのは、ゴキブリかということであったが、次の瞬間に、太くて長い触角の残像が頭に浮かび、ン・・・と思って廻りを見回した。

「ゴマダラカミキリ」それが正体であった。

採集するまでもなく、庭に放して窓をしめた。

暑いので、寝室の窓を開けたまま寝たが、夜中に大きな虫が部屋の中を飛び廻って出ていったので、まだそのへんをうろついていたものとみえる。

昔、近所でアパート住まいをしていたことがあって、寝ていたら夜中に顔の上を歩くものがある。払い落して電気をつけた。

大きなゴキブリ、ウエ、ゲッ!

週刊誌を丸めてたたきつぶした。少し興奮して、もうおらんだろうなとあたりを見回した。すると、次の瞬間、隣の部屋からゴキブリがもう一匹スススと入って来たではないか! ゲッゲッ!

その夜、もう眠ることは、さすが虫好きの私でもできなかった。

《さわだ ひろし 〒920 金沢市石引1-16-11》

会員の動き。しゃばの動き

❖山岸氏、2人身と成ったからには居住空間も広げねばと、1LDKを3LDKにレベルアップ。この秋には4LDKにしたいと言っていたが、もう1人増えるのかも。なお住所は同じで、C4-206がC1-403となった。

❖1月27日野中、上田、勝海の新しい昆虫採集鬼。内浦でクロコムラのリターンマッチ。なんと1本の柳から3桁を採る。

❖加藤氏、チョウの展示会を開く。石川銀行頭取たつての頼みとかで、野々市支店で2月いっぱい開かれている。

❖2月3日上田氏、一族を従えてスキー旅行。家族サービスに徹すると固く心に誓っていたが、つつい手が伸び、アイノ、ジョウザン等60卵。

❖2月3日野中、中西の病氣組。押水あたりでオサ掘りに熱中。熱が入り過ぎたのか制御棒がふっとんだ中西氏、意識朦朧の中で早々の帰宅。

❖最近カメラを購入したが、なかなか良い写真が撮れない野中氏の言葉、「僕は良い写真が撮りたくてカメラを買ったのでは無く、ただ純粋に良いカメラを持ちたかっただけ」

❖3月8日教育自治会館でスライド選考がメインの例会。参加はたったの5人。その後の居酒屋はなかなかのものだったので、こちらが好きな方はどしどし奇数月例会に参加を！

❖田中氏、完全にカンアオイに取り付かれ、融雪を待つのももどかしく、せっせと福井へ足を運んでいる。福井は雪が少ないらしいよ。

❖現在、蝶談会は写真集「石川の昆虫」に取り組んでいる。発行は来年3月なので、春の虫は今しか撮れない。頑張らなくっちゃ！

❖3月9日松井氏、金大角間キャンパスで、これまで山地性が強いと思われていた某種を確認。元来住みついていていたものなのか、キャンパス造成に伴う移入なのか、たいへん興味深い。

❖澤田氏の所にピドニアの同定用比較標本が10数種送られてきた。これは松本市在住の早川広文氏が石川県のピドニア相解明を願っての贈り物らしい。

❖徳本氏、ニコンのF601を購入し写真撮影にも力が入ってきた。

❖3月10日松井、野中、上田、井村の4氏、加賀・山中方面へ。タブの枯枝からベーツヤサを割り出したり、カエデからミスジチョウを見つけた。この2種で写真集用にと140枚程のスライドを撮ったが、使えるものがあるのかどうかはすこぶる疑問。

❖3月10日竹谷氏、抜群の陽気に誘われ平栗へ。ところが雪は深く、カタクリが咲き競う彼の地は、まだ1m程の残雪だった。

❖松井氏、春だと言うのに浮かぬ顔。春は誰にとっても待ち遠しく、まして蝶屋にとってはギフチョウが舞う最良の季節。ところがスギ花粉症が猛威を奮うのもこの頃。今年は昨年引き続き、花粉の当たり年で、ギフのシーズンが終わるまで目元クシャクシャの鼻グスグスらしい。

☛ 3月15日厚生年金会館でアオスジアゲハが飛びまわる。室内のどこかで羽化したらしいが、抜け殻がない事には確証が持てないと、小幡名探偵は室内をくまなく捜していた。

☛ 3月21日松田氏、陽気に誘われて辰口あたりをぶらついたが、ギフはまだまだの感じだった。

☛ 3月25日加藤一家、井沢リーダーのもとバリ島ツアーに出発。さてこのツアー観光なのか採集なのか、いささか気になるところである。

☛ どうも6月から南西航空が小松・那覇間を飛びそうである。那覇まで2.5時間、これで沖縄がグッと近くなる。

例会の記録

2月8日(金)城南管工2Fにて8時より開催。先ずは指田氏による「現代思想」の「虫の思想誌」について一席。続いては各自が持ち寄った「越冬する虫」の選考会。今回から写真集の選考も合わせて行われ、ここでパスしたものは、それ以上のものが出てくるまで本選に残される事になった。また今年にかぎり毎月例会を持ち、選考会を毎月開くこととなった。

参加は、細沼、指田、野中、澤田、井村、竹谷、小幡、松井、上田、中田、中西(2人)の12人。

目次

野中 勝：飼育失敗記：その2《桜によるゼフィルス <small>ゼフィルス</small> の飼育》	…… 1
松井正人：アサギマダラを3種の食草で飼育	…… 3
松井正人：茶畑に集まるアサギマダラ	…… 4
松井正人：石川県に於けるゼフィルスの分布2	…… 5
指田春喜：マレーシアの蝶についての報告(V)：シロチョウ科(その2)	…… 11
野中 勝：クロカタビロオサムシの追加記録	…… 14
井村正行：ダイミョウアトキリゴミムシの採集記録	…… 14
井村正行：ルリクワガタの越冬成虫を採集	…… 14
井村正行：ムネアカセンチコガネを採集	…… 15
澤田 博：守家待天牛：その1《ゴマダラカミキリ》	…… 15
編集部：会員の動き・しゃぼの動き	…… 16
編集部：例会の記録	…… 17

とぶ NO.89

1991年4月5日発行

〒920-01 金沢市大場町東871-15 松井方
百万石蝶談会

☎ 0762-58-2727

振替 金沢5-562

印刷 小西紙店印刷所